

HVMANI COR-  
TERIS QVAS SV.  
LIBERORVM, SVAQVE  
*latere delineatio.*

PORIS OSSIVM CAE  
STINENT PARTIBVS  
SEDE POSITORVM IN

PRIMA  
MVSCVLO.

# 解剖実習

## 下肢2

2019年12月6日

金田 勇人 (Hayato Kaneda)

滋賀医科大学解剖学講座 (神経形態学部門) 准教授

[hayato@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hayato@belle.shiga-med.ac.jp)

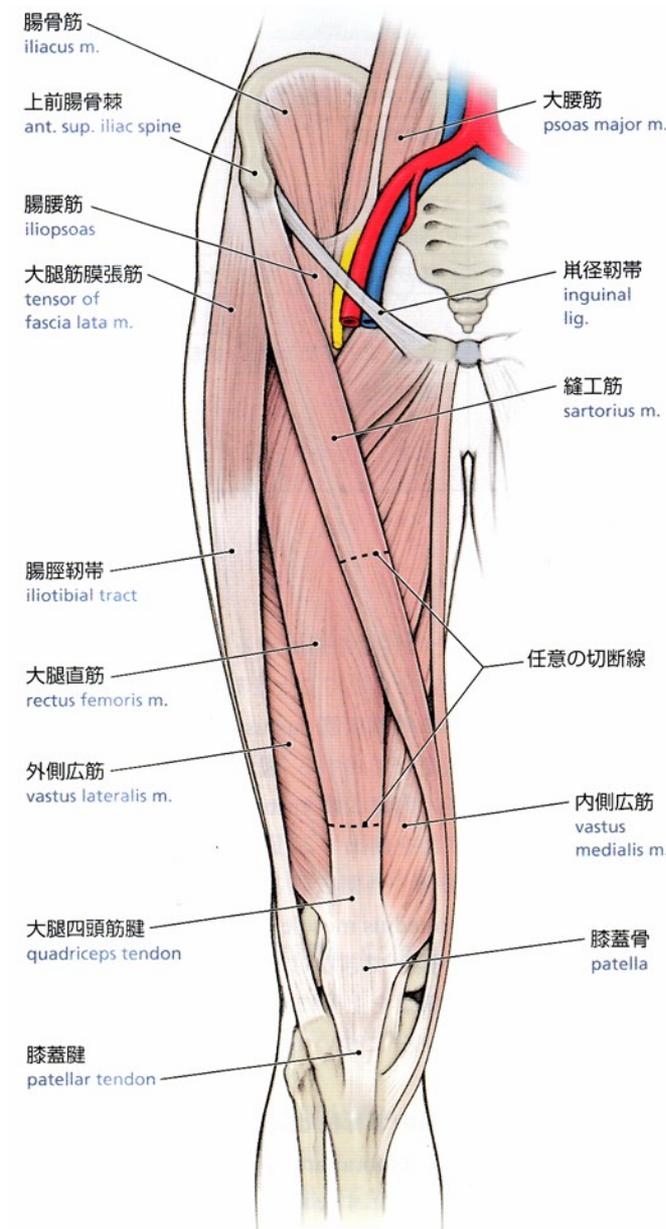


# 大腿前区画の筋 大腿四頭筋

表 6.1 大腿の前区画の筋

筋	起始	停止	作用	神経支配	
恥骨筋	pectineus	恥骨櫛と恥骨上枝	大腿骨の恥骨筋線	大腿の内転と屈曲	大腿神経と閉鎖神経
腸腰筋	iliopsoas	●腸骨筋：腸骨窩 ●大腰筋：T12-L5の横突起と椎体	大腿骨の小転子	大腿の屈曲	大腿神経
縫工筋	sartorius	上前腸骨棘	近位の脛骨内側面	大腿の屈曲と外旋，下腿の屈曲と内旋	
大腿筋膜張筋	tensor fasciae lata (TFL)	上前腸骨棘	腸脛靭帯	大腿の外転，内旋，屈曲	上殿神経
大腿四頭筋	quadriceps femoris				
大腿直筋	rectus femoris	下前腸骨棘	脛骨粗面	大腿の屈曲と下腿の伸展	大腿神経
内側広筋	vastus medialis	粗線内側唇と転子間線			
外側広筋	vastus lateralis	粗線外側唇と大転子			
中間広筋	vastus intermedius	大腿骨前面と外側面			

T: 胸椎, L: 腰椎 [図 477, 489]

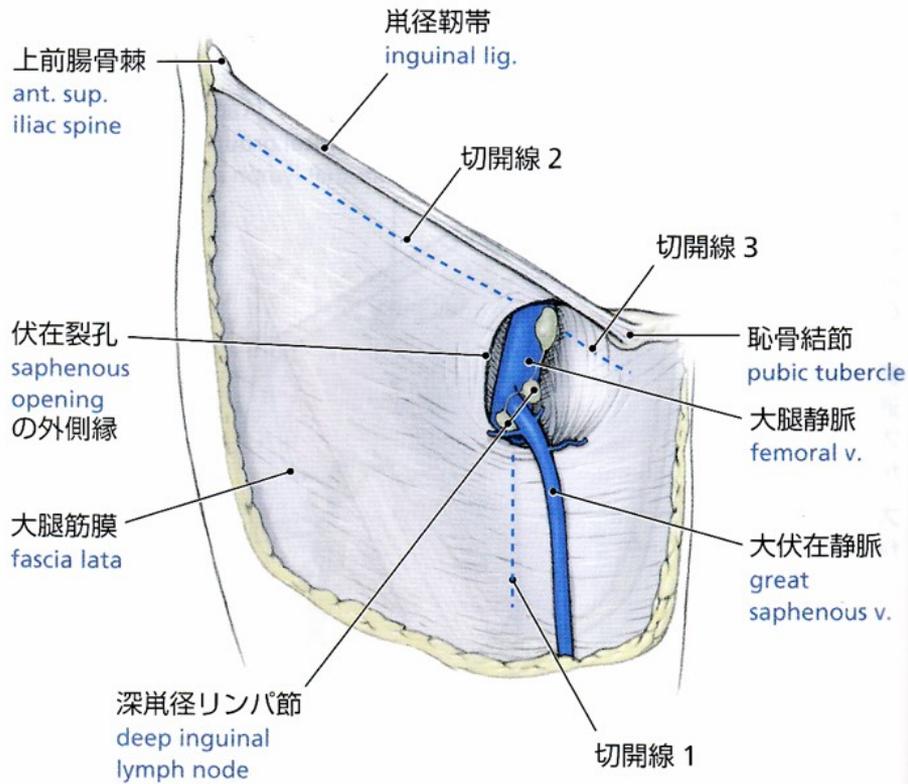


起始・停止・前後関係を  
確認しながら筋肉を  
同定していく

筋束をむやみに割か  
ない事

内転筋群に注意

# 伏在裂孔（前区画で解剖）



## 17 単径部

下図Aの方向から見上げたところ。腸骨筋膜の一部が単径靭帯と腸恥隆起の間に筋膜弓をつくり、筋裂孔と血管裂孔とを隔てる。

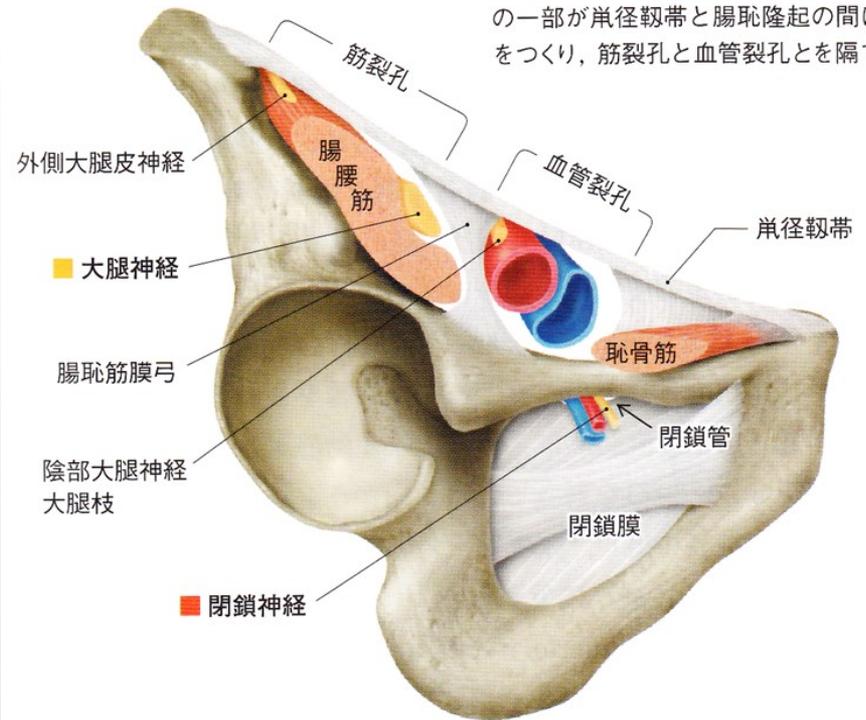
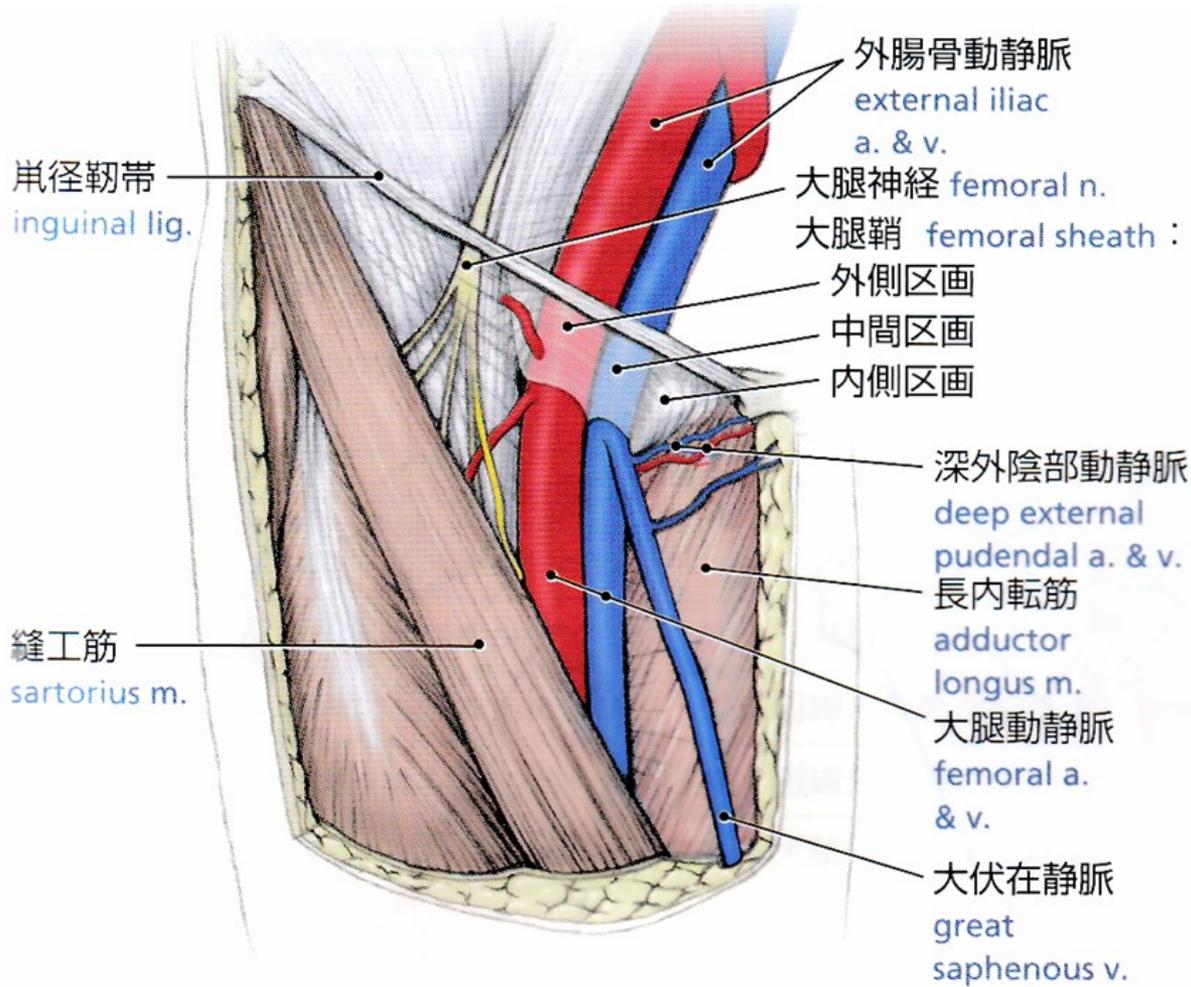


図 6.7 大腿三角を開くための切開

# 大腿三角

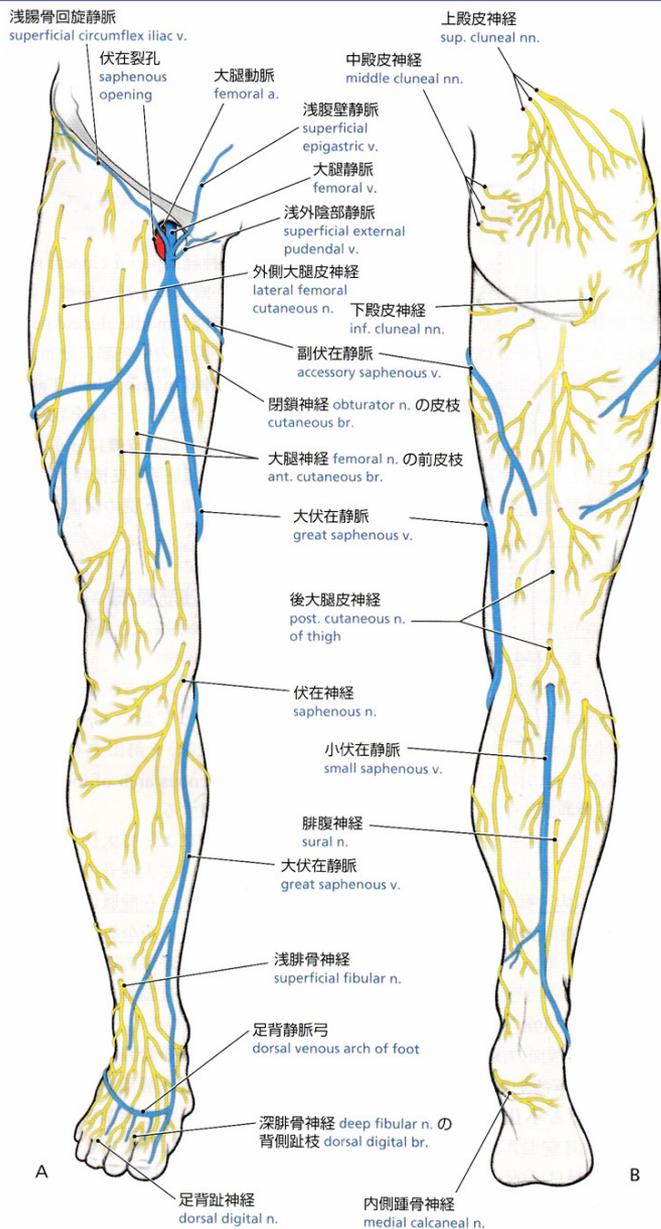


単径靭帯  
縫工筋  
長内転筋で構成  
(底面には腸腰筋と  
恥骨筋)

単径靭帯の下を通る

- ① 大腿神経
- ② 大腿動脈
- ③ 大腿静脈
- ④ リンパ管

# 下肢の表在静脈



下肢後面の浅筋膜  
下肢前面の浅筋膜

皮静脈の繋がりを確認  
(血流の方向ではない)

伏在裂孔

大腿静脈

→大伏在静脈→内側後面

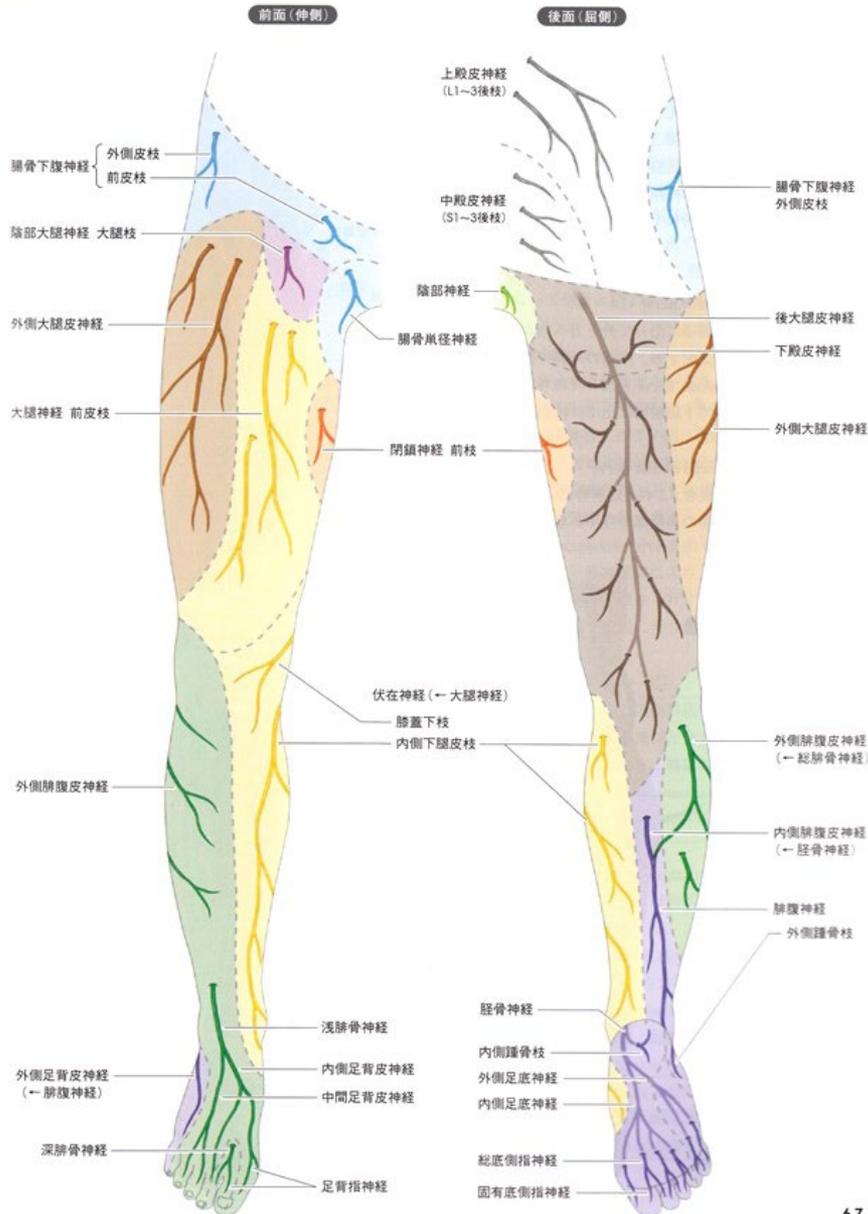
→内側前面→足背静脈弓

→小伏在静脈

深部へ

→膝窩静脈→大腿静脈

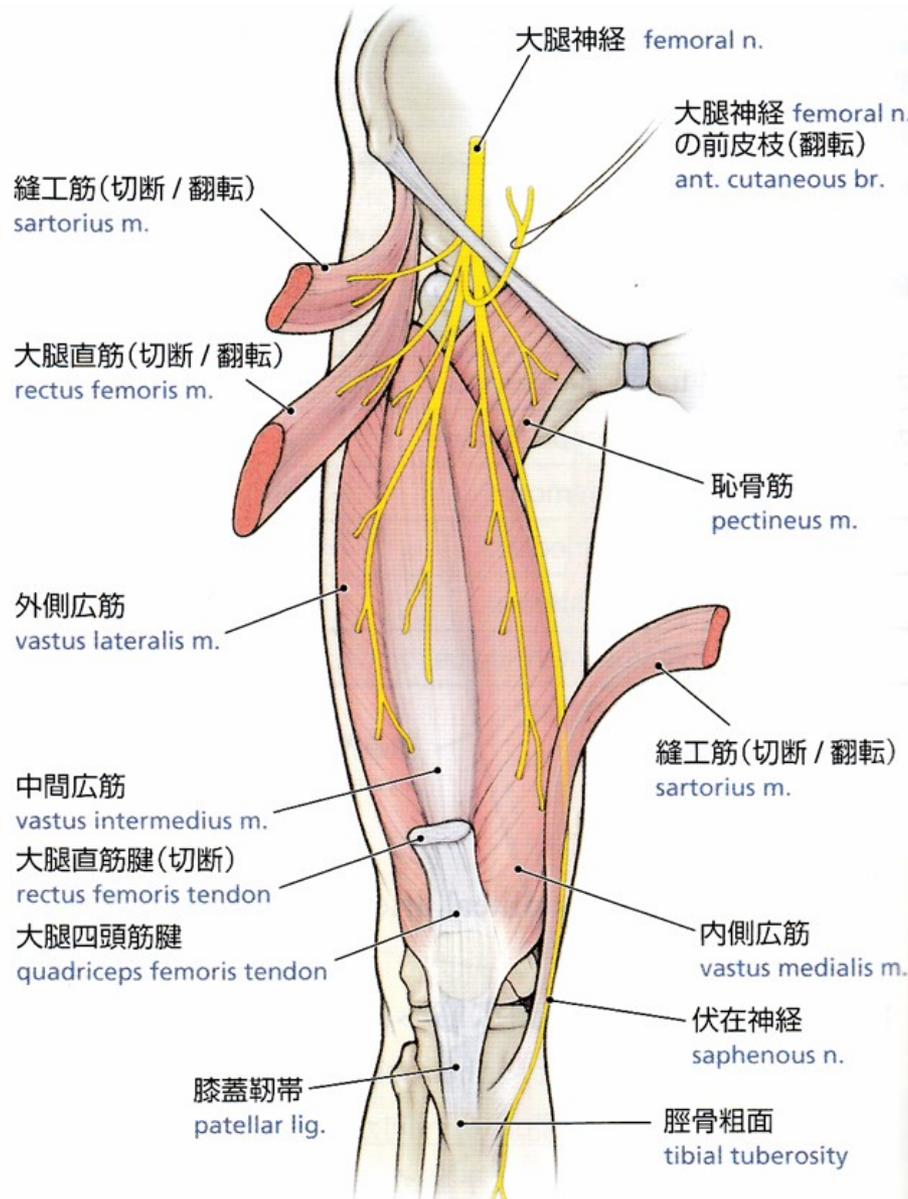
# 下肢の皮神経



下肢後面の浅筋膜  
 白:殿皮神経(上中下)  
 こげ茶:後大腿皮神経  
 紫:腓腹神経

下肢前面の浅筋膜  
 茶:外側大腿皮神経  
 橙:閉鎖神経の皮枝  
 黄:大腿神経の前皮枝  
 黄:伏在神経(大腿神経の枝)  
 緑:足背趾神経(総/浅腓骨神経)

# 大腿神経



前区画のほとんどの筋  
は大腿神経の筋枝支配

# 内側区画は内転筋群

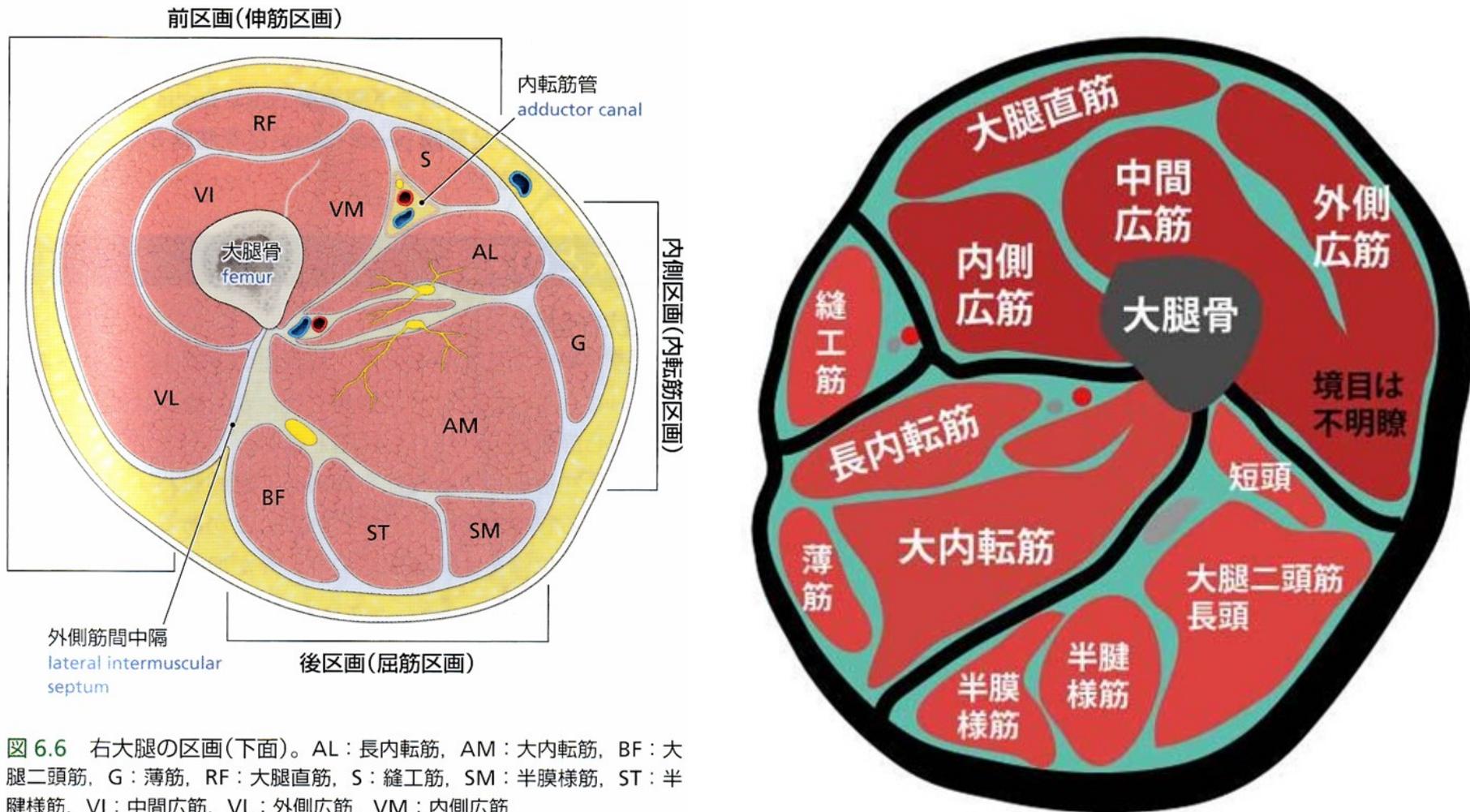


図 6.6 右大腿の区画(下面)。AL：長内転筋，AM：大内転筋，BF：大腿二頭筋，G：薄筋，RF：大腿直筋，S：縫工筋，SM：半膜様筋，ST：半腱様筋，VI：中間広筋，VL：外側広筋，VM：内側広筋

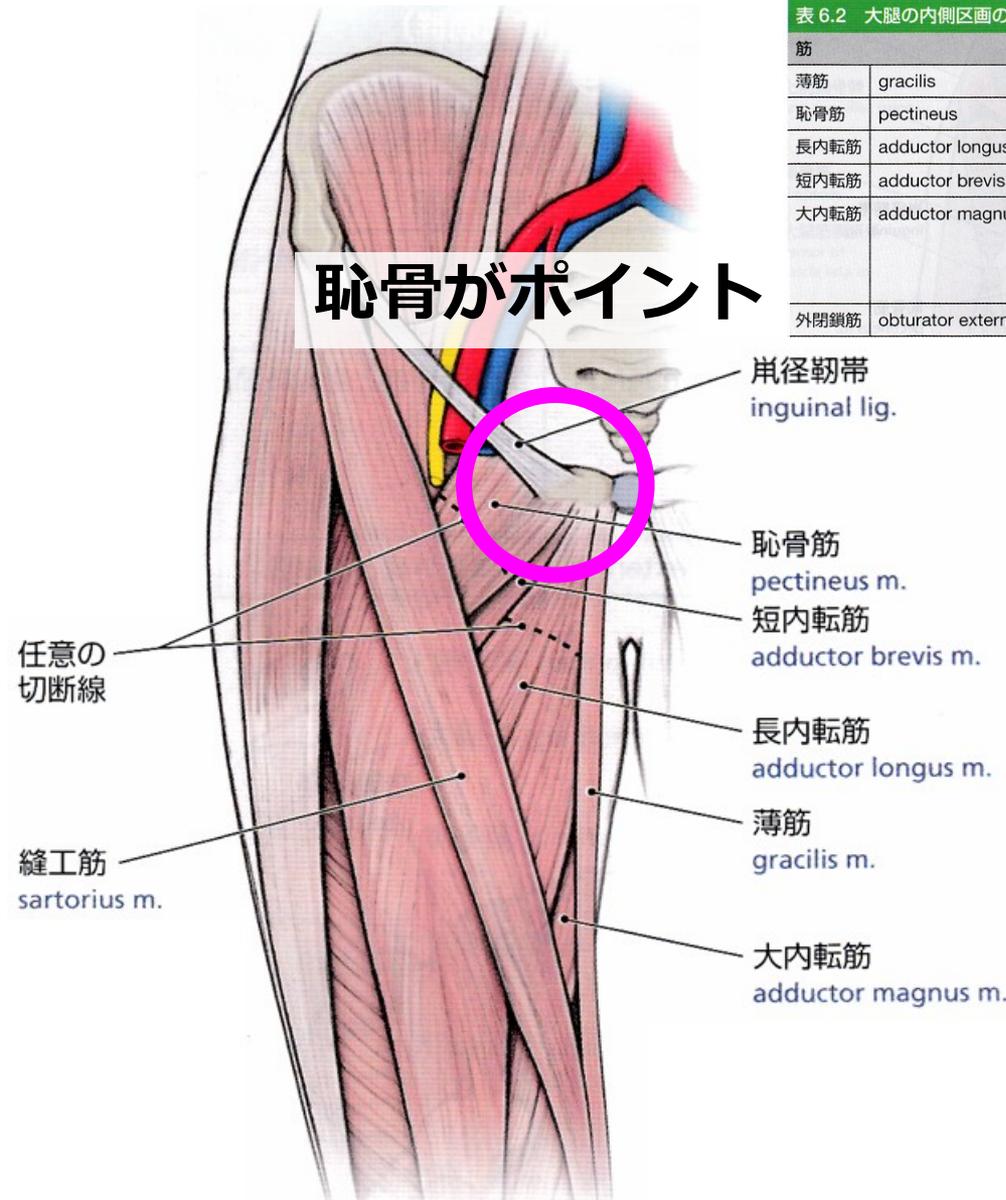
- 前区画：股関節を屈曲させる。(大腿四頭筋、縫工筋)
- 後区画：股関節を伸展させる。(大腿二頭筋、半膜様筋、半腱様筋)
- 内側区画：股関節を内転させる。(内転筋群)

# 大腿の内側区画

表 6.2 大腿の内側区画の筋(内転筋群)

筋		起始	停止	作用	神経支配
薄筋	gracilis	恥骨体と恥骨下枝	脛骨近位の内側面	大腿の内転、下腿の屈曲と内旋	閉鎖神経
恥骨筋	pectineus	恥骨上枝	恥骨筋線	大腿の内転	閉鎖神経と大腿神経
長内転筋	adductor longus	恥骨櫛の下方の恥骨体	大腿骨粗線の中 1/3		閉鎖神経
短内転筋	adductor brevis	恥骨体と恥骨下枝	恥骨筋線と大腿骨粗線の近位部		
大内転筋	adductor magnus	坐骨恥骨枝と坐骨結節	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内転筋部：殿筋粗面、粗線、内側上顆線</li> <li>●ハムストリング部：大腿骨の内転筋結節</li> </ul>	大腿の内転と伸展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内転筋部：閉鎖神経</li> <li>●ハムストリング部：坐骨神経の脛骨神経部</li> </ul>
外閉鎖筋	obturator externus	閉鎖孔外縁と閉鎖膜	大腿骨の转子窩	大腿の外旋	閉鎖神経

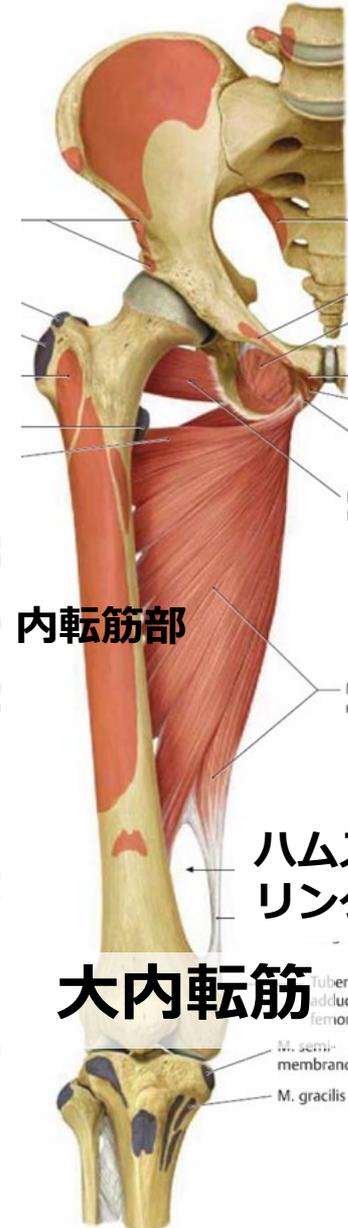
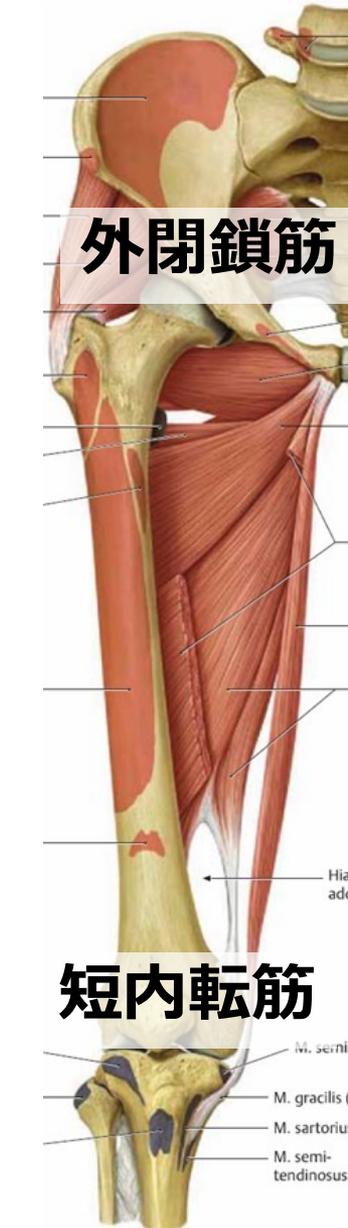
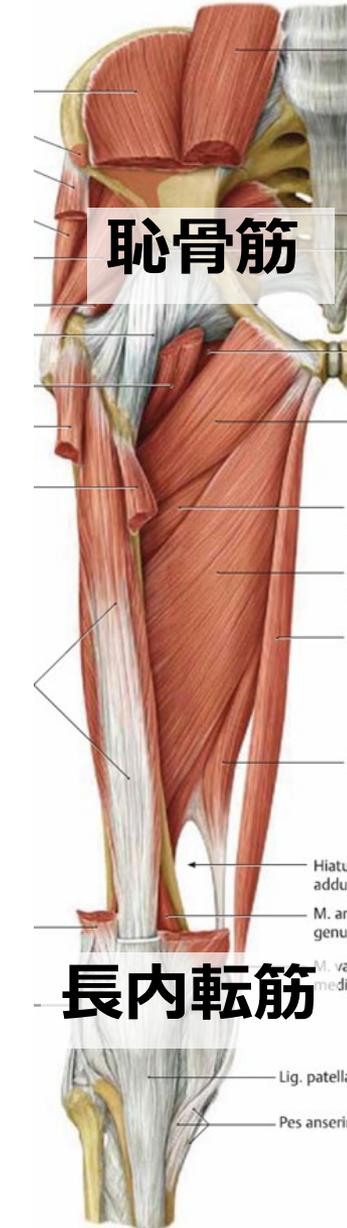
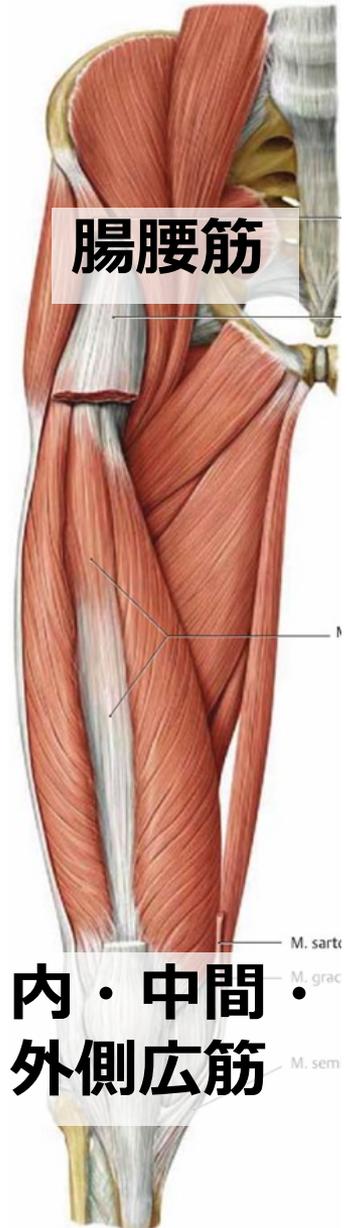
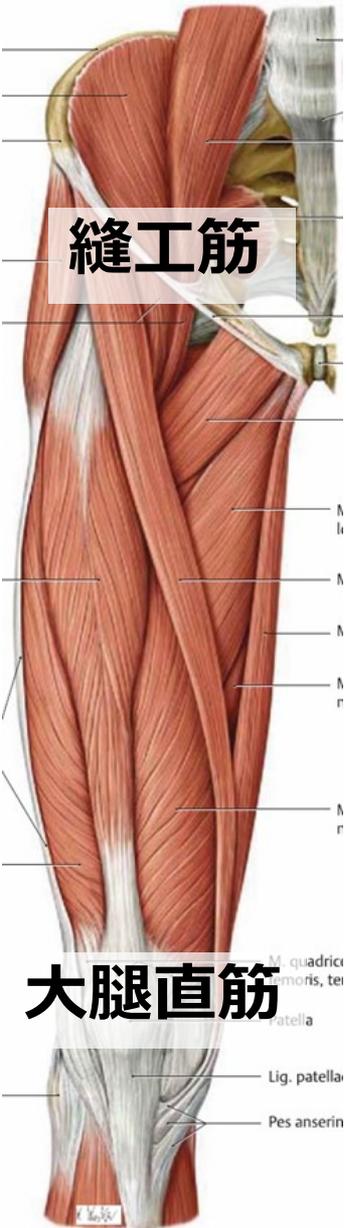
恥骨がポイント



**薄筋、恥骨筋、長・短・大内転筋、外閉鎖筋を起始・停止や大腿深動脈、閉鎖神経との位置関係を確認しながら同定**

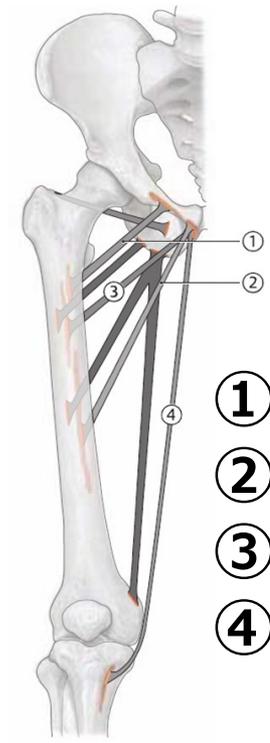
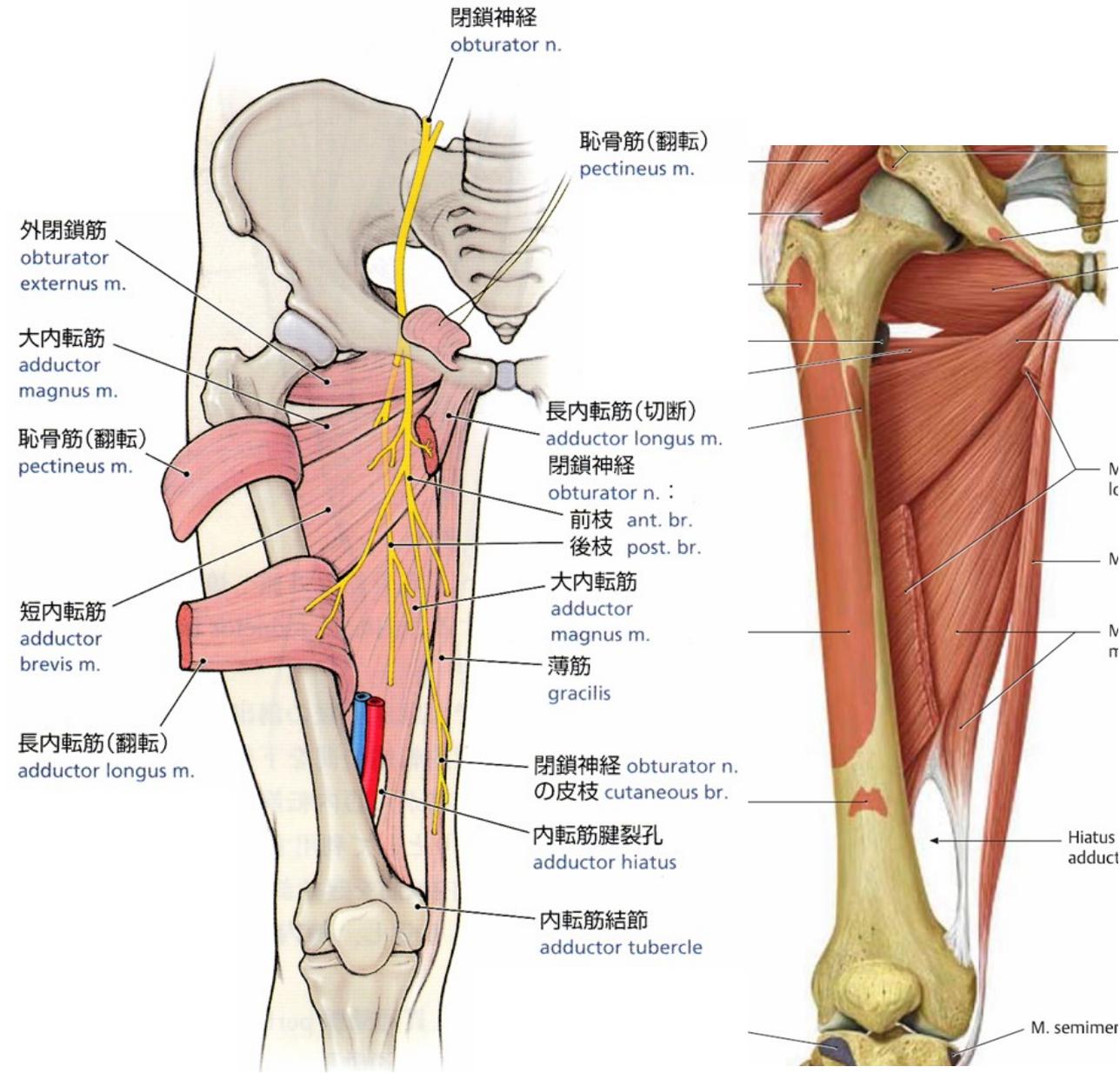
**起始部が分かるように恥骨に少し残しておく和良好的(長内転筋、短内転筋、恥骨筋・外閉鎖筋)**

# 前区画の筋の前後関係



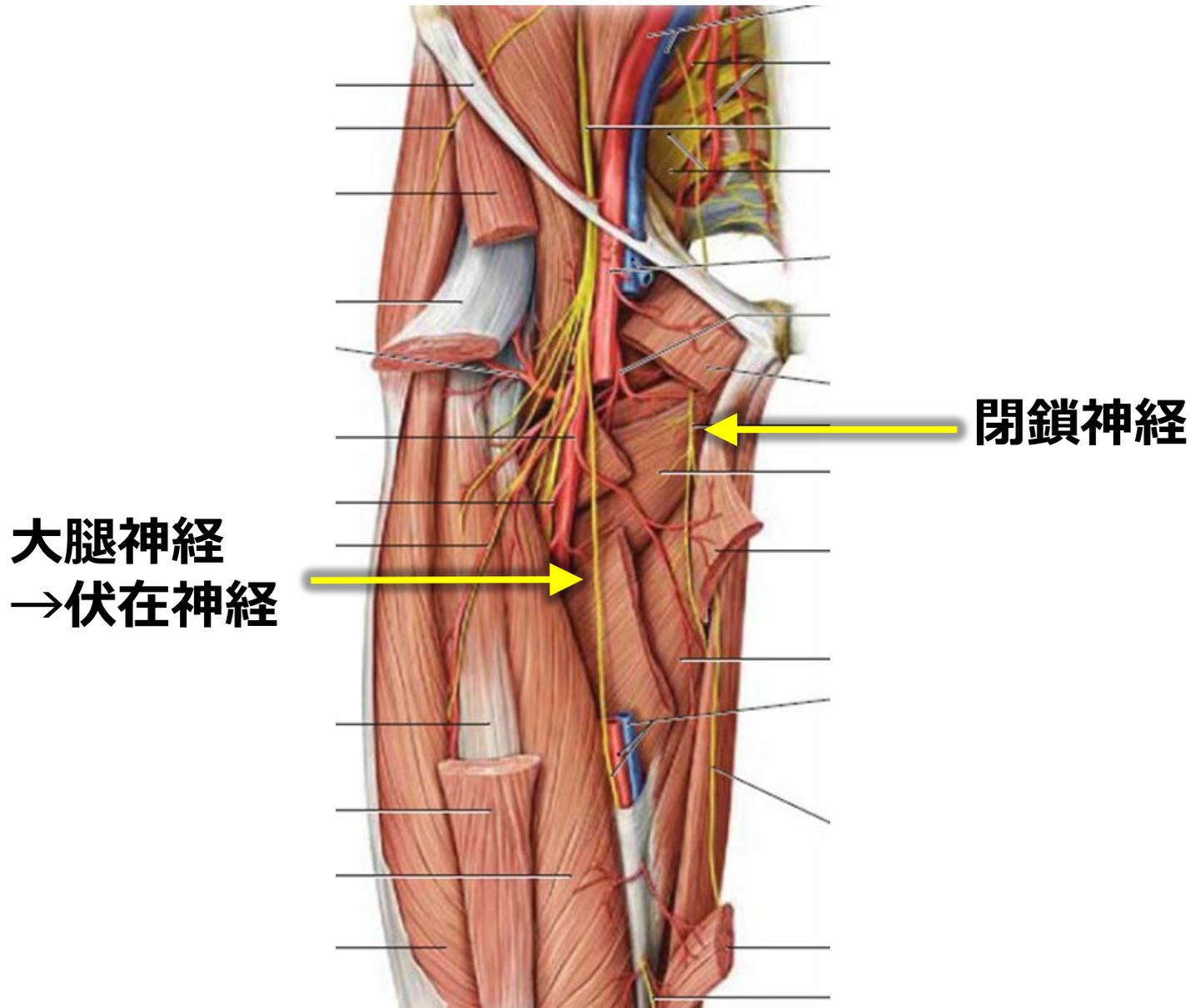
# 閉鎖神経と内転筋群

閉鎖神経の前枝・後枝は短内転筋を挟むように走行  
後枝を見つけられるか？

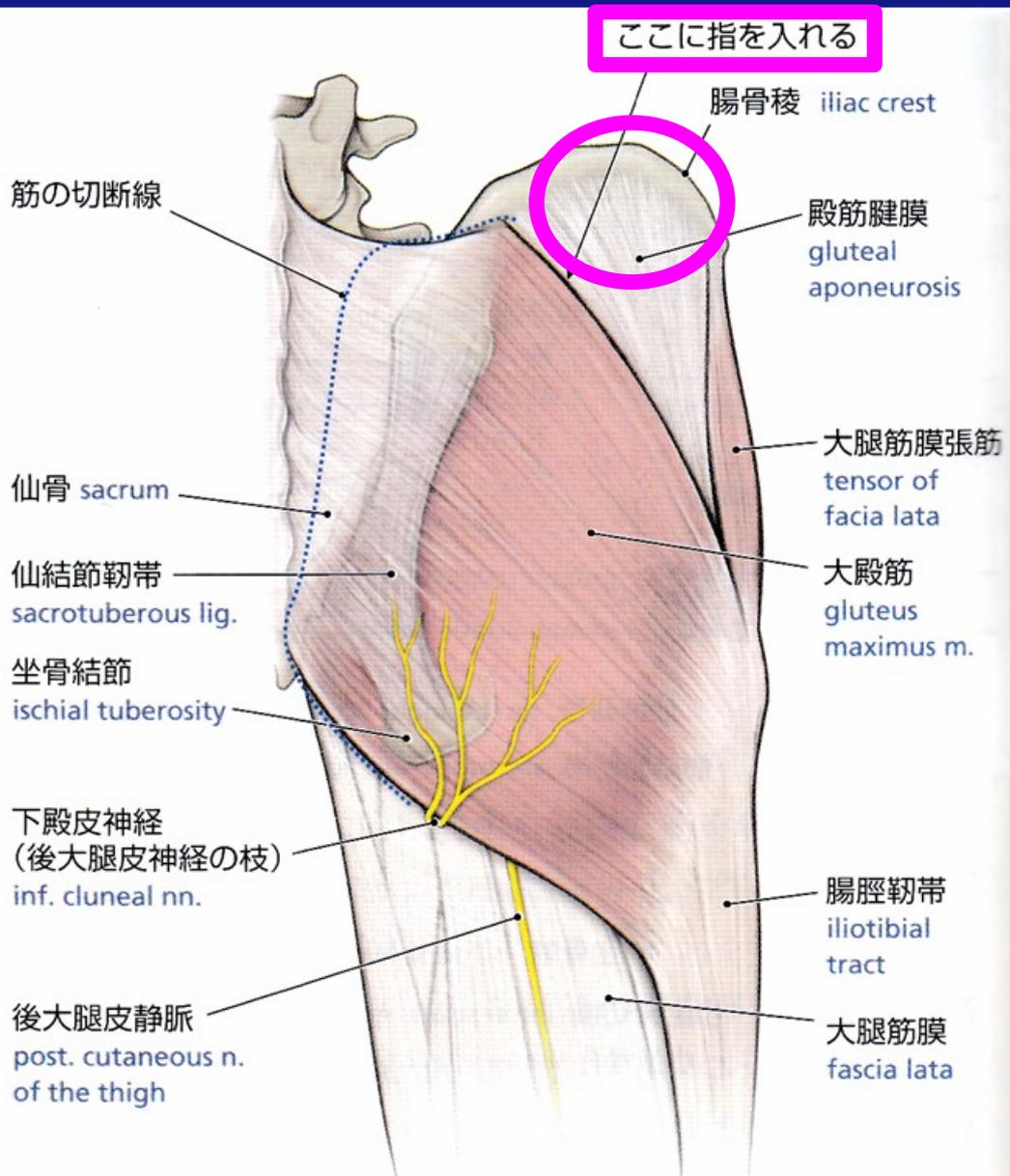


- ① 腸骨筋
- ② 長内転筋
- ③ 短内転筋
- ④ 薄筋

# 閉鎖神経は内転筋群を支配



# 殿部(臀部)



雑に切ると後面にある中殿筋や小殿筋を破壊して深層の筋の解剖にも影響が出るので鈍的にきちんと分離して全体像を把握してから切断すること

**絶対に鈍的剥離してからにしましょう！**

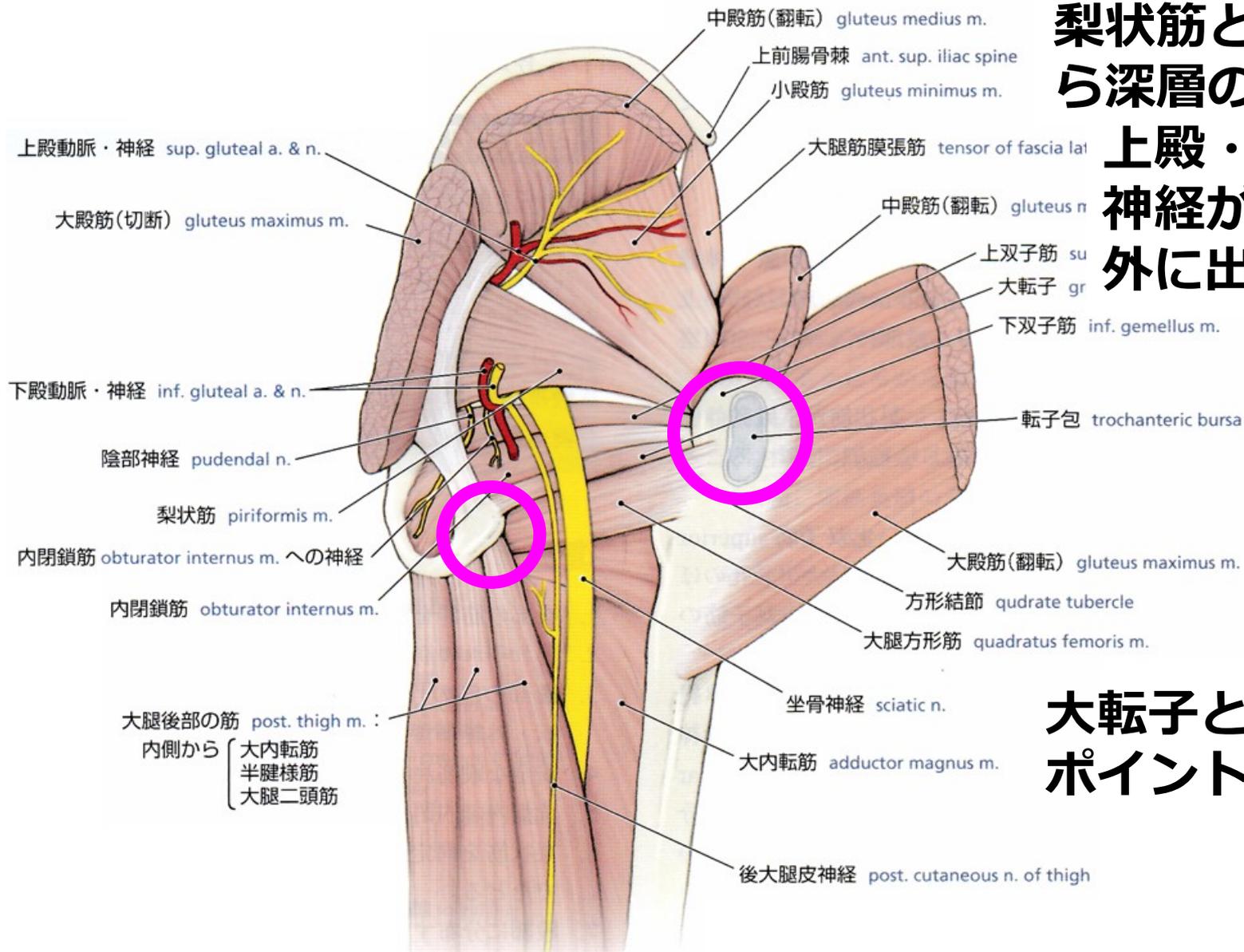
**円の部分の殿筋腱膜は大殿筋ではなく中殿筋の起始**



# 殿部深層の外旋筋群と坐骨神経

**梨状筋と坐骨神経から深層の筋を同定  
上殿・下殿動脈・神経が挟むように外に出てくる**

**大転子と坐骨結節がポイントになる**



# 後区画 股関節伸筋・膝関節屈筋 ハムストリング

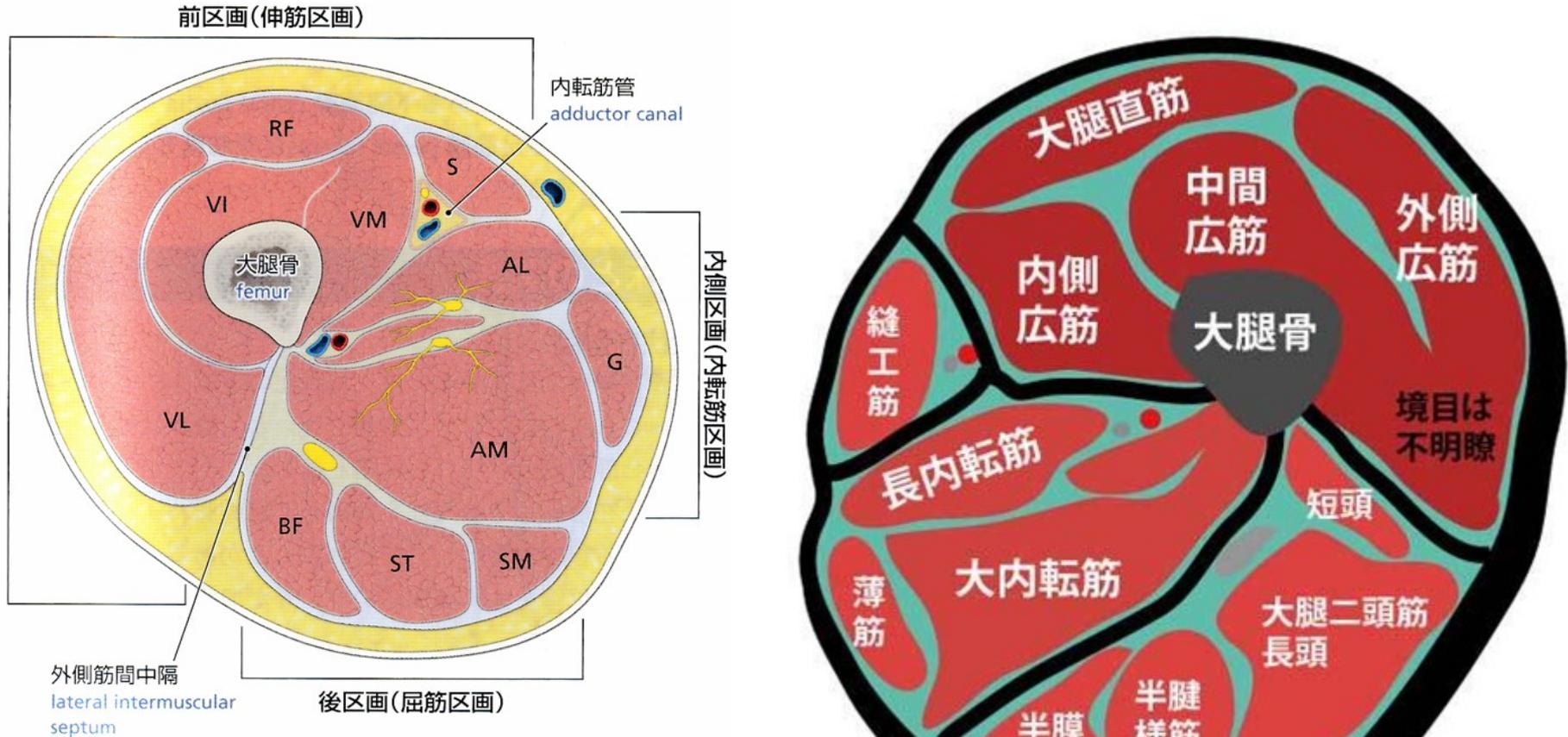
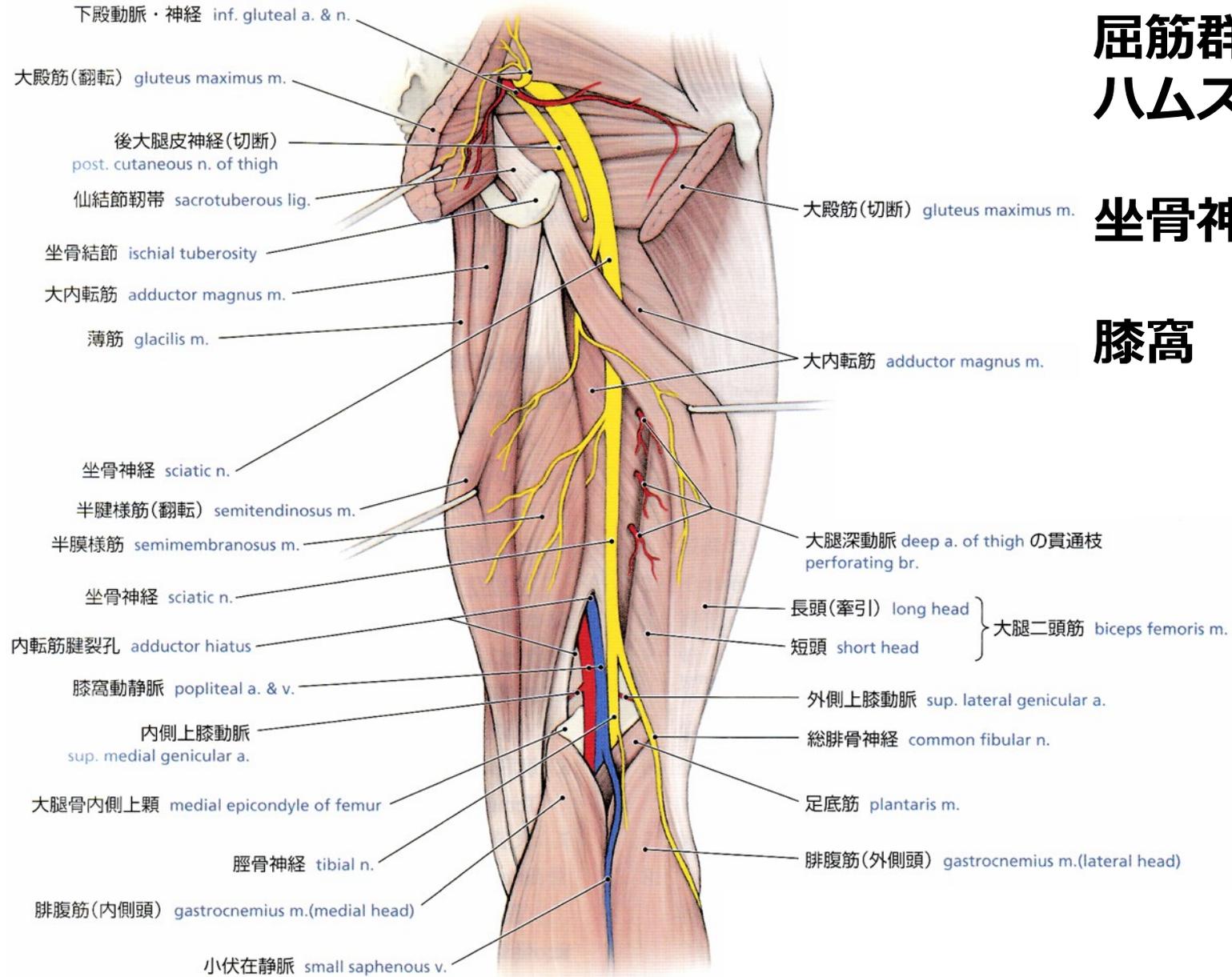


図 6.6 右大腿の区画(下面)。AL：長内転筋，AM：大内転筋，BF：大腿二頭筋，G：薄筋，RF：大腿直筋，S：縫工筋，SM：半膜様筋，ST：半腱様筋，VI：中間広筋，VL：外側広筋，VM：内側広筋

- 前区画：股関節を屈曲させる。(大腿四頭筋、縫工筋)
- 後区画：股関節を伸展させる。(大腿二頭筋、半膜様筋、半腱様筋)
- 内側区画：股関節を内転させる。(内転筋群)

# 大腿の後区画と膝窩



屈筋群  
ハムストリング

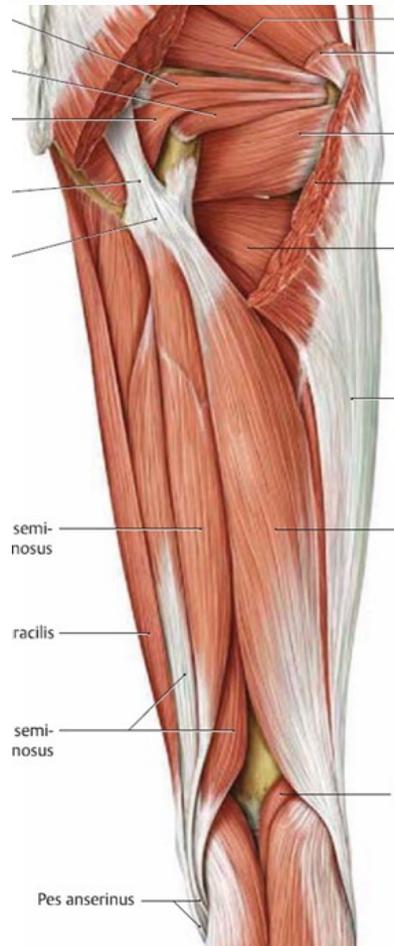
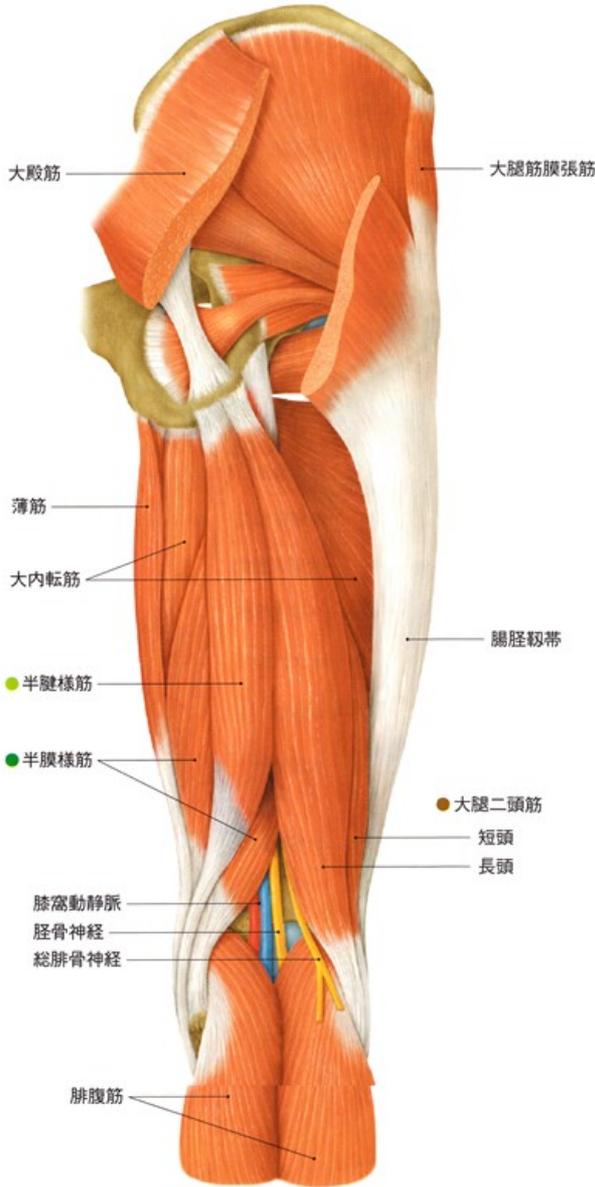
坐骨神経

膝窩

# 大腿後面の下腿の屈筋群（ハムストリング）

表 6.4 大腿の後区画と膝窩の筋

筋		起始	停止	作用	神経支配
大腿二頭筋	biceps femoris	●長頭：坐骨結節 ●短頭：大腿骨粗線の外側唇	腓骨頭	大腿の伸展（長頭のみ） と下腿の屈曲	●長頭：坐骨神経の脛骨神経成分 ●短頭：坐骨神経の総腓骨神経成分
半腱様筋	semitendinosus	坐骨結節	脛骨上部の内側面	大腿の伸展と下腿の屈曲と内旋	坐骨神経の脛骨神経成分
半膜様筋	semimembranosus		脛骨内側顆の後部		
膝窩筋	popliteus	大腿骨外側顆の外側面と外側半月	ヒラメ筋線より上方の脛骨後面	伸展位の下腿の固定を解除、下腿の弱い屈曲	脛骨神経

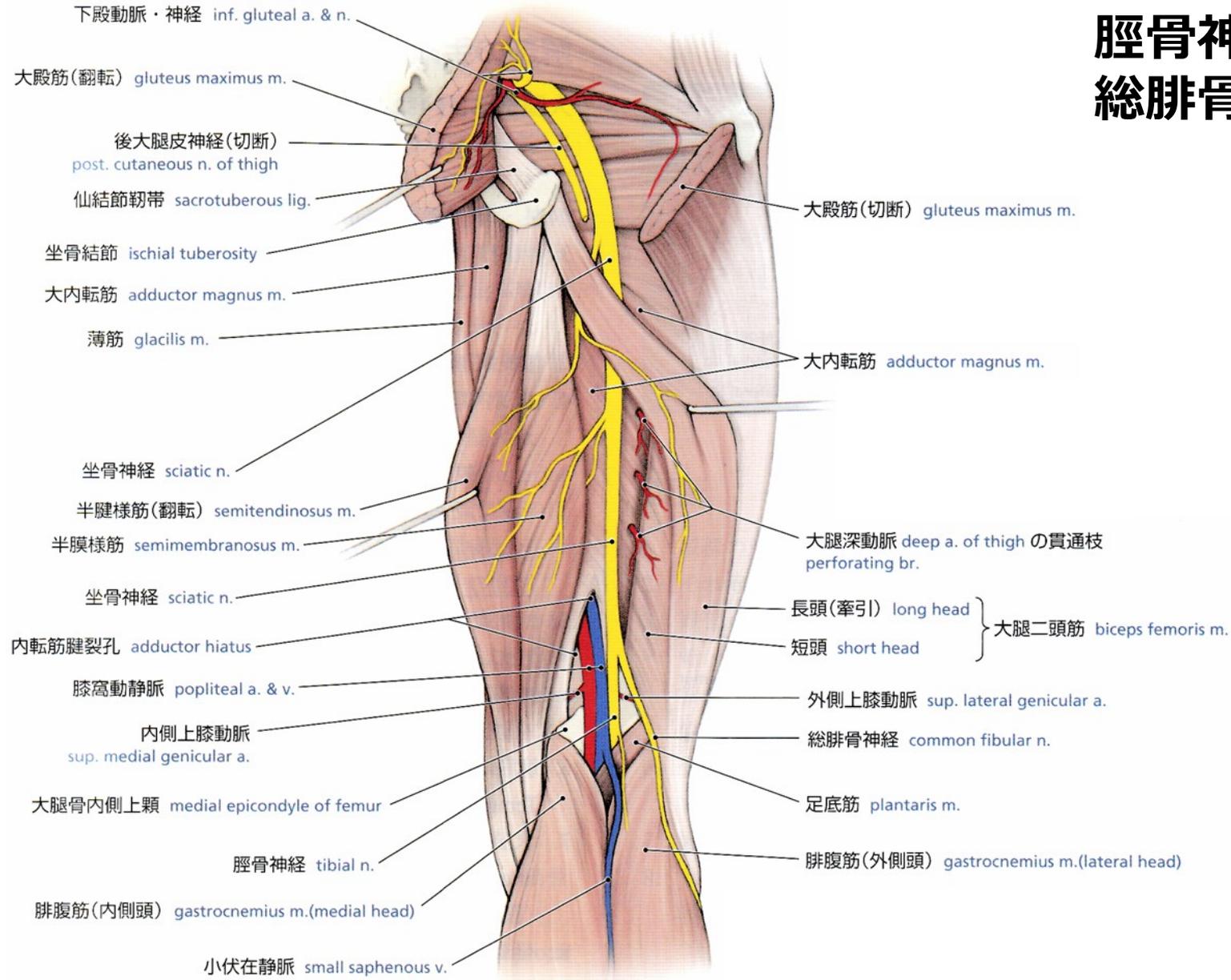


ハムストリング  
 大腿二頭筋  
 半腱様筋  
 半膜様筋

坐骨神経で支配

# 坐骨神経

## 脛骨神経と 総腓骨神経に分枝

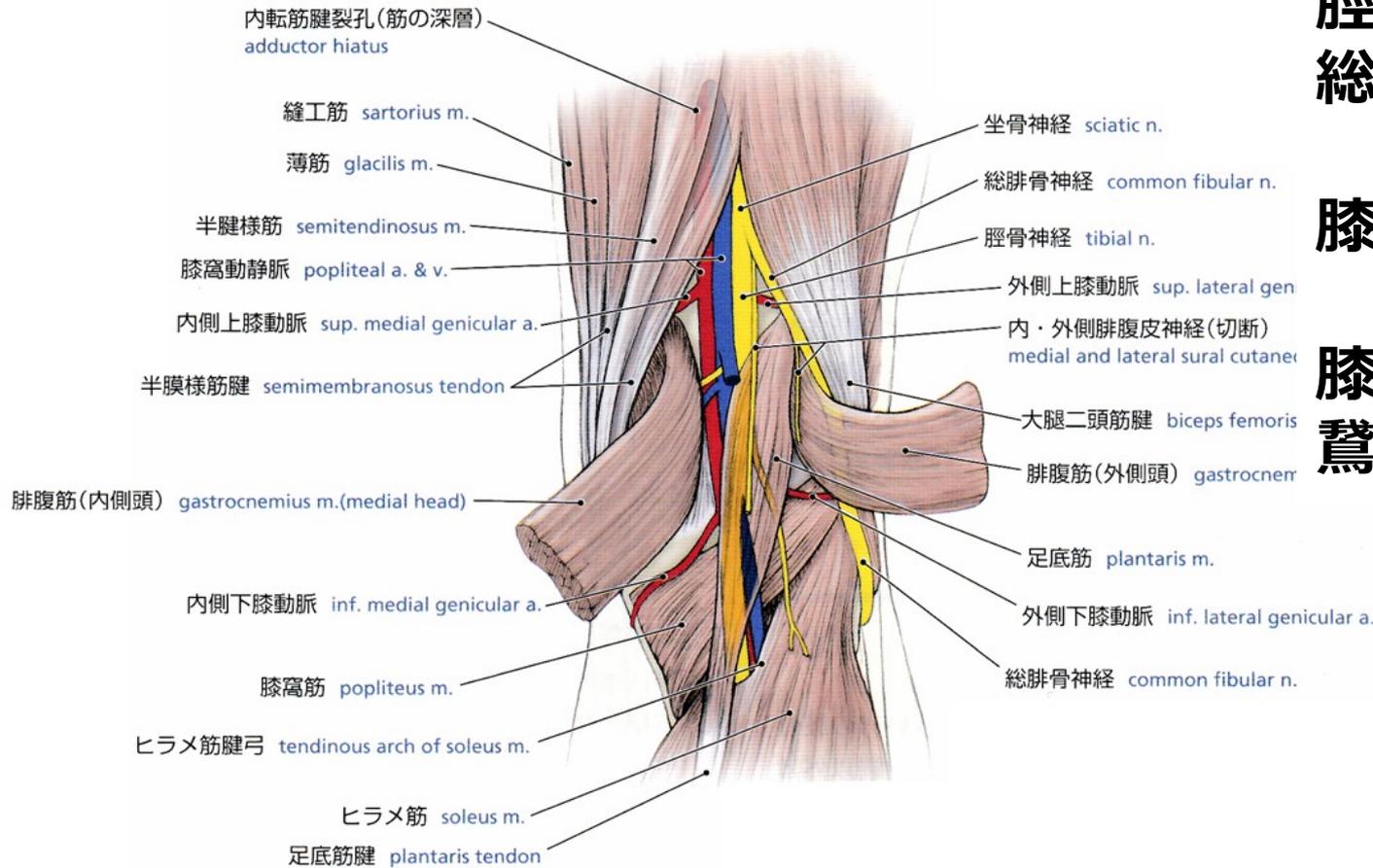


# 膝窩（しっか）

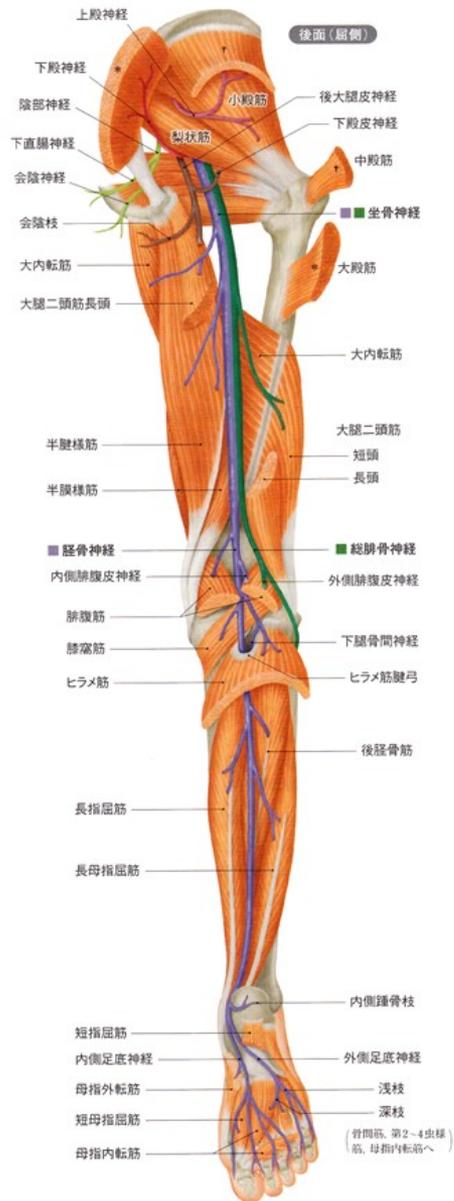
## 脛骨神経と 総腓骨神経に分枝

## 膝関節動脈網

## 膝窩筋 鷺足



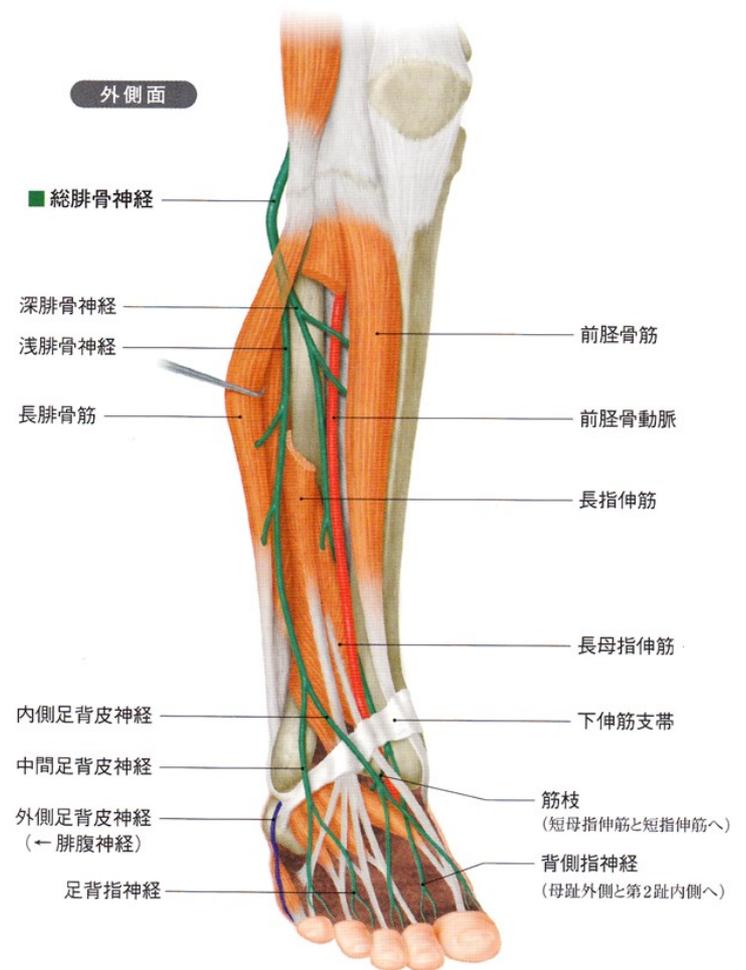
# 総腓骨神経



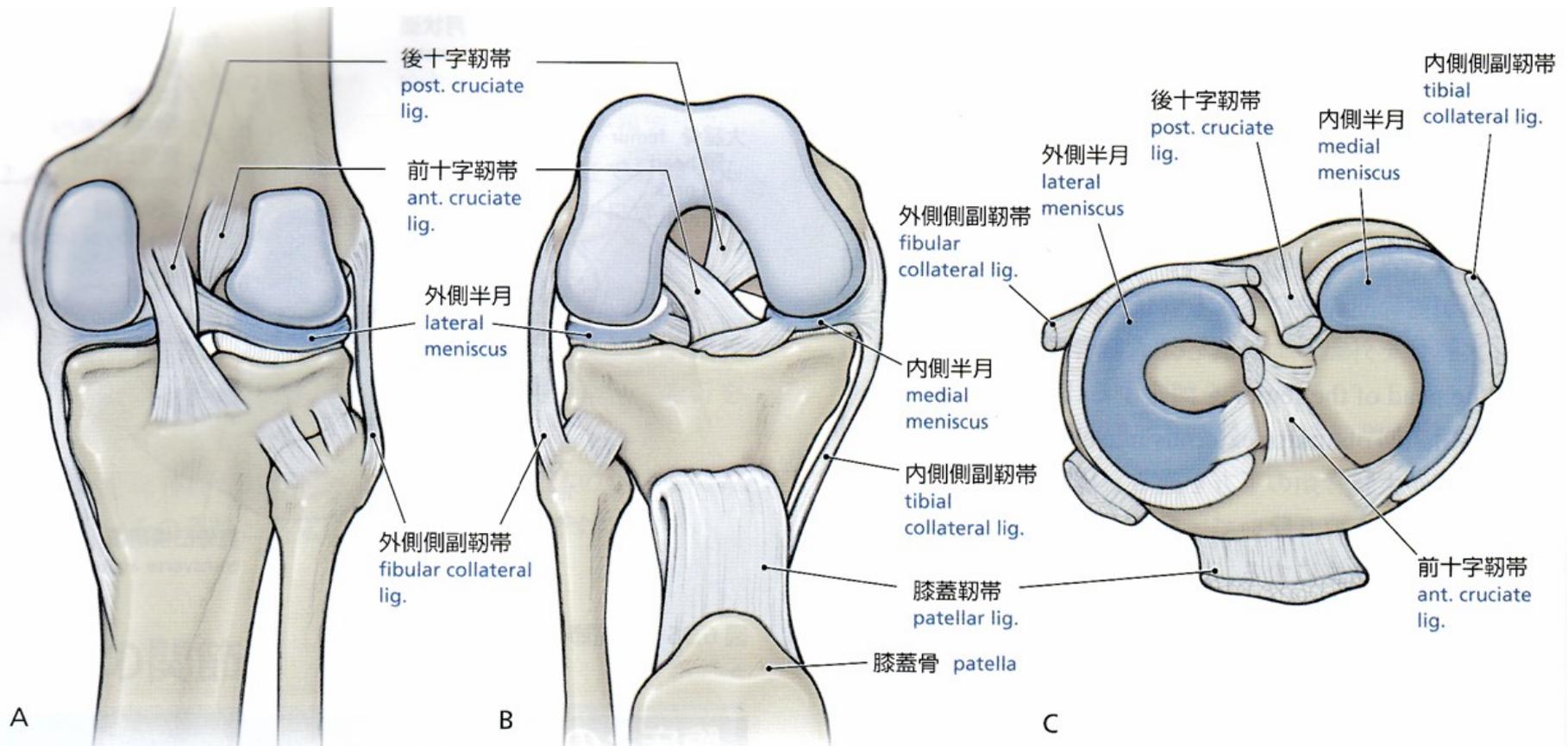
脛骨神経  
 大腿屈筋群  
 下腿屈筋群  
 足底筋

総腓骨神経  
 下腿伸筋群  
 腓骨筋  
 足背の筋

腓骨神経麻痺→下垂足  
 体表近くを通るので損傷しやすい



# 膝窩の靭帯（下枝4で実施）



膝関節をばらばらにならない程度に内容物を確認してみる  
内側側副靭帯は膝関節を稼働させて探すと良い  
非常に薄くすぐに見つからなくなるので注意

■

---

**怪我しないように注意しましょう**